

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和4年4月～6月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外では携帯電話の使用は極力控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。徒歩による移動は犯罪被害に巻き込まれるリスクが高く、日中でも人通りが少ない道路や夜間は、特に注意が必要です。

また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。金融機関をご利用の際は、日時や場所を変え常に周囲の状況を確認するようにしてください。

万が一強盗被害に遭った場合は、犯人の要求に従い絶対に抵抗しないでください。

(2)主な事件概要

- ・ 4月1日午後8時頃、セントラル県ルケ市のガソリンスタンドに 2 人組の強盗犯が押し入り、店員 2 名と客 1 名を拳銃で脅し、現金と携帯電話を強奪した。
- ・ 4月14日正午頃、セントラル県ニエンブ市中心部の商店に、客を装った2人組が拳銃で経営者を脅し、応戦した経営者が銃弾を受けて重症を負った。犯人は経営者の鞆を強奪して逃走した。
- ・ 4月21日午後6時頃、イタプア県エデリラ市で家畜を購入するためにトラックで移動していた男性2名が、別の車で接近してきた4人組の武装犯に拳銃で脅迫された。被害者は更にトラックのタイヤに発砲を受けて走行不能となり、所持していた現金を強奪された。
- ・ 4月24日17時頃、コンセプション県サンヘント・ホセ・フェリックス・ロペス市の森林地で、捜査活動中の警察官4名が武装犯から襲撃され、うち3名が射殺され1名が重症を負った。
- ・ 4月28日16時頃、セントラル県サン・ロレンソ市内でバスに乗車していた女性が、物売りを装

った若い男に携帯電話を盗まれる事件が発生した。被害者は犯人を追いかけるも転倒し、意識を失った。

- ・ 5月18日アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市のホセ・カルロス・アセベド市長が、市役所近くの路上で武装犯に襲撃され、銃弾7発を被弾して殺害された。
- ・ 5月25日午前、アスンシオン市内有名ショッピングセンターに爆発物を設置したとの脅迫電話が国家警察庁911番通報センターに寄せられ、現場に特殊部隊と爆発物処理部隊が出動したが、爆発物の発見には至らなかった。
- ・ 6月1日アルト・パラナ県エルナンダリア市の喫茶店駐車場で、駐車中の車の窓ガラスが割られ、車内から現金が盗まれた。被害者は銀行から現金を引き出したばかりであり、犯人に尾行されていた可能性がある。
- ・ 6月4日セントラル県内で麻薬密輸対策庁による家宅捜査が行われ、ブラジル国籍の医学生や配車サービスのドライバーなど11名の若者が合成麻薬の密売容疑で逮捕された。
- ・ 6月14日アマンバイ県カピタン・バド市の警察施設前においてオートバイで接近してきた2人組の武装犯に襲撃され、警察官1名が射殺される事件が発生した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 6月13日イタプア県カルメン・デル・パラナ市内で、警察を装った男2人組が、走行中の車を停止させて、乗っていた男女を拳銃で脅し携帯電話を強奪した。さらに男女を後部座席に移動させて犯人自ら被害者の車を運転。フェデリコ・チャベスの林へ向かい、男女の手を縛った状態で放置したのち現場から被害者の車で立ち去った。被害者の車は解放された現場から約5kmの地点に乗り捨てられていた。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

路上強盗被害が多発しており、多額の現金を所持している者を狙った犯行が多くみられます。多額の現金を所持する場合などには、十分に注意してください。